

巻末資料

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
シリーズタイトル	アジ研選書
シリーズ番号	43
雑誌名	チャベス政権下のベネズエラ
ページ	219-239
発行年	2016
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00016733

巻末資料

資料1 チャベス政権関連クロノロジー

1989	2	第二次ベレス政権がネオリベラル経済改革を実施。カラカソ大暴動。
1992	2	チャベスがベレス政権打倒をめざしてクーデターを首謀、失敗に終わる。同年11月には別グループによる2つめのクーデター未遂事件が発生。
1993	5	ベレス大統領が辞任に追い込まれる。
1994	2	暫定政権を経て、第二次カルデラ政権誕生。カルデラがチャベスに恩赦を与える。ネオリベラル経済改革の後退。
1998	12	大統領選でチャベス勝利。翌1999年2月就任。
1999	12	国民投票で新憲法が承認。
2000	7	新憲法下で大統領、国会議員、州知事選挙のやり直し。チャベス再選。
2001	11	大統領授權法のもと49の経済法が成立。
2002	4	チャベスが2日間政権を追われる4.11政変。
	12	反チャベス派による石油産業を中心としたゼネスト（～2003年2月）。
2004	8	チャベス大統領に対する不信任投票、信任される。
	10	州知事選でチャベス派が22州中20州を獲得する圧勝。
2005	12	国会議員選挙を反チャベス派政党がボイコット、すべての議席をチャベス派が獲得。
2006	12	大統領選挙でチャベス再選。
2007	1	電力、通信、外資の石油事業の一部国有化。
	5	反チャベス派民放局 RCTV 閉鎖、学生による反チャベス派運動が活発化。
	12	チャベス提出の憲法改正案が国民投票で否決。
2008	4	セメント産業、製鉄産業の（再）国有化。
2009	2	チャベスの憲法修正案（再選回数制限の撤廃）が国民投票で可決。
2010	9	国会議員選挙で反チャベス派が得票率では過半数をとりながら、議席数ではチャベス派が過半数を確保。
2010	12	2009年に国民投票で否決された憲法改正案の内容（大衆権力に関するもの）を法律レベルで成立。
2011	6	チャベスが癌を発表、キューバで手術・治療。
2012	2	チャベスの癌が再発、キューバで手術・治療。
	10	大統領選挙でチャベスが再選。
	12	チャベスの癌が再発、キューバで手術するも、術後の経過が悪くキューバで継続治療。
2013	1	本人不在で新任期に就任できないままチャベスの大統領責務の継続。
	3	チャベス死去。
	4	大統領選挙でチャベス後継のマドウロが勝利。

（出所） 坂口作成。

資料2 チャベス派、反チャベス派の各選挙での得票数（率）の推移

	チャベス・チャベス派		反チャベス派		棄権率
	得票数	得票率	得票数	得票率	
1998.12 大統領選挙	3,673,685	56.2%	2,613,161	40.0%	36.6%
1999. 4 制憲議会設立を問う国民投票 ^{a)}	3,630,666	87.8%	300,233	7.3%	62.4%
1999. 7 制憲議会議員選出選挙 ^{b)}	3,163,768	62.1%	1,233,299	24.2%	53.7%
1999.12 新憲法承認の国民投票 ^{a)}	3,301,475	71.8%	1,298,105	28.2%	55.6%
2000. 7 大統領選挙	3,757,773	59.8%	2,359,459	37.5%	43.7%
2004. 8 不信任投票 ^{a)}	5,800,629	59.1%	3,989,008	40.6%	30.1%
2005.12 国会議員選挙 ^{c)}		96.0%		3.0%	75.0%
2006.12 大統領選挙	7,309,080	62.8%	4,292,466	36.9%	25.3%
2007.12 憲法改正の国民投票 A ブロック ^{a)d)}	4,379,392	49.3%	4,504,354	50.7%	n.a.
憲法改正の国民投票 B ブロック ^{a)d)}	4,335,136	48.9%	4,522,332	51.1%	n.a.
2009. 2 憲法修正の国民投票 ^{a)}	6,310,482	54.9%	5,193,839	45.1%	29.7%
2010. 9 国会議員選挙 ^{c)}	5,620,159	49.7%	5,688,986	50.3%	35.3%
2012.10 大統領選挙	8,191,132	55.1%	6,591,304	44.3%	19.5%
2013. 4 大統領選挙	7,587,579	50.6%	7,363,980	49.1%	20.3%

（出所） 国家選挙管理委員会（CNE）のウェブサイトより坂口・Briceño 作成。

（注） a) 国民投票や不信任投票では、チャベス政権または政権の提案を承認する方を「チャベス・チャベス派」、拒否する方を「反チャベス派」と分類。b) 複数記名式で実施され、有権者は1票以上を投票した。選挙結果は得票率で示されており、得票率は得票率から Briceño が計算したもの。c) 国会議員選挙は州ごとの比例代表制と小中選挙区制の併用制で実施される。国家選挙管理委員会のウェブサイトでは、チャベス派、反チャベス派で国レベルで集計されたもの、あるいはその分類で簡単に計算できるかたちで集計されたものがない。そのため、2005年の国会議員選挙については同時に実施されたラテンアメリカ議会選挙への投票結果を推計値として記載している。2010年については、比例代表制部分のみの得票数で計算している。d) 69条項の改正提案を2つのブロックに分けて国民投票が行われた。

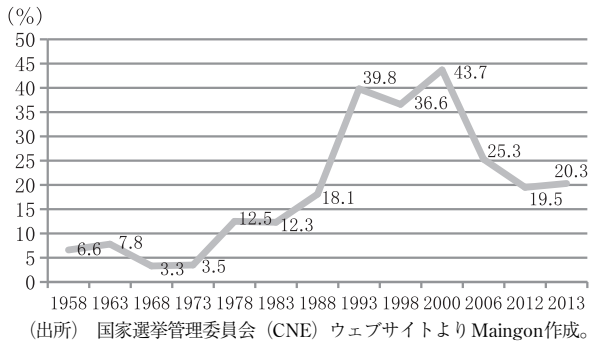
資料3 2010年国会議員選挙の結果

	獲得議席	議席占有率（%）	得票率（%）
チャベス派	98	59.4	49.7
反チャベス派	67	40.6	50.3
民主統一会議（MUD）	65	39.4	47.2
皆の祖国党（PPT）	2	1.2	3.1
合計	165	100.0	100.0

（出所） 国家選挙管理委員会（CNE）ウェブサイトより坂口作成。

（注） 民主統一会議は反チャベス派政党の統一戦線。皆の祖国党はチャベスから離反した政党で、民主統一会議には合流していないが、独自に強い反チャベス派姿勢を示していた。

資料4 大統領選挙における棄権率（1958～2013年）



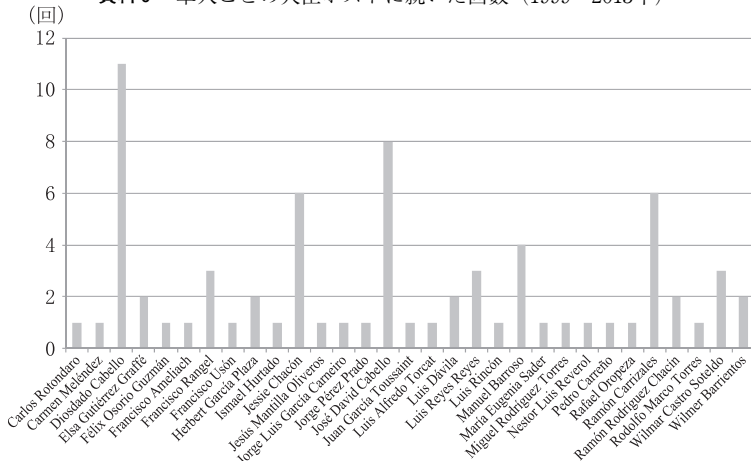
資料5 地域住民委員会に設置された投票所数（2006～2013年）

年	選挙	投票 所数	議席 数	有権 者数	与 党 得 票 数	%	野 党 得 票 数	%	その他 得 票 数	%	総投 票 数
2006	大統領選挙	29	56	23,832	12,287	70.1	5,205	29.7	45	0.3	17,537
2007	国民投票	33	61	24,787	7,941	51.2	7,556	48.8	—	0.0	15,497
2009	国民投票	37	64	25,877	10,357	56.3	8,043	43.7	—	0.0	18,400
2010	国会議員選挙	72	103	38,305	14,209	53.9	9,593	36.4	2,542	9.6	26,344
2012	大統領選挙	119	158	54,985	31,504	67.9	14,571	31.4	294	0.6	46,369
2013	大統領選挙	119	158	54,985	29,228	63.0	16,980	36.6	175	0.4	46,383

(出所) 国家選挙管理委員会 (CNE) ウェブサイトより Briceño 計算。

(注) 名前に“Comunal”という語が含まれる投票所に関して集計。

資料6 軍人ごとの大臣ポストに就いた回数（1999～2013年）



(出所) Díaz Ramírez (2014) より Maingon 作成。

資料7 軍人出身の現職州知事と過去の主要政治ポスト

氏名	歴任した公的ポスト	期間
Ramón Carrizales 陸軍大佐（退役）	副大統領 防衛大臣 アブレ州知事	2008～2010 2009.3～2010.1 2012～2016
Francisco Rangel 師団長（退役）	大統領府大臣 グアヤナ開発公社（CFG）社長 ボリバル州知事（再選）	1999 2001～2004 2008～2012/2012～2016
Francisco Ameliach 陸軍司令官（退役）	制憲議会議員 国会議員 大統領府大臣 カラボボ州知事	1999 2003～2004 2010～2011 2012～2016
Ramón Rodríguez Chacín 海軍大佐（退役）	内務司法大臣（短期間に2回） グアリコ州知事	2002.1～5/2008.1～9 2012～2016
Carlos Mata Figueroa 国軍最高司令官（退役）	防衛大臣 ヌエバ・エスバルタ州知事	2010/2012 2012～2016
Wilmar Castro Soteldo 陸軍中佐（退役）	生産商業大臣 観光大臣 ポルトウゲサ州知事	2003～2004 2005～2007 2008～2012/2012～2016
José Gregorio Vielma Mora 陸軍大将（退役）	制憲議会議員 国税局（SENIAT）局長 タチラ州知事	1999 2003～2008 2012～2016
Henry Rangel Silva 陸軍将軍（退役）	国家住宅評議会（Conavi）理事 情報秘密警察（DISIP）理事 国营電話通信社（Cantv）取締役 ボリバル国軍戦略オペレーション部隊長 防衛大臣 トゥルヒージョ州知事	2005 2009 2010 2010 2012 2012～2016
Jorge Luis García Carneiro 陸軍将軍（退役）	Casa Militar 長 防衛大臣 陸軍大将 大衆参加社会開発大臣 バルガス州知事（再選）	2001～2002 2004～2005 2006～2007 2005～2007 2008～2012/2012～2016
Julio César León 空軍学校卒業生	ヤラクイ州議会代理議員 ヤラクイ州知事	2004 2008～2012/2012～2016
Francisco Javier Arias Cárdenas 陸軍副中尉	スリア州知事 国連大使 ラテンアメリカ・カリブ担当外務副大臣 国会議員 スリア州知事	1995～2000 2006 2008～2010 2010～2012 2012～2016

（出所） 資料6と同じ。

資料 8 公的政治行政ポストに就いた軍人（1999～2013年）

軍人	歴任した公的政治行政ポスト
José David Cabello	マイケティア国際空港社長（2004） 国営航空 CONVIASA 社長（2006） インフラ大臣（2006） 住宅大臣（2007～2008） 国税局（SENIAT）局長（2008～2014） インフラ大臣（2014） 国家貿易局（CENCOEX）局長（2014） 工業大臣（2014）
Jessie Chacón	通信情報大臣（2003～2004，2009） 内務司法平和大臣（2006～2007） 電話通信情報郵便大臣（2007） 大統領府大臣（2008） 科学技術革新大臣（2009～2010） 電力エネルギー大臣（2013～）
Ramón Carrizales	国家都市運輸基金（FONTUR）理事長（2000～2004） インフラ大臣（2004～2006） 住宅大臣（2006～2008） 副大統領（2008～2010） 防衛大臣（2009～2010） アブレ州知事（2013～）
Francisco Rangel	大統領府大臣（1999～2000） グアヤナ開発公社（CVG）社長（2001～2004） ボリバル州知事（2004～）
Manuel Barroso	大統領府大臣（2004） 国民主権銀行社長（2004～2006） 国富銀行取締役（2005～2013） 外貨監督局（CADIVI）局長（2006～2013）
Diosdado Cabello	国家通信局（CONATEL）局長（1999～2000） 大統領府大臣（2000～2001） 副大統領（2002） 内務司法大臣（2002～2003） インフラ大臣（2003～2004） ミランダ州知事（2004～2008） インフラ大臣（2008） 公共投資大臣（2009～2010） 国家通信局（CONATEL）局長（2009） 国会議員（2011～） 国会議長（2012～）
Luis Alfredo Torcat	大統領府大臣（2005）
Luis Reyes Reyes	公共投資大臣（1999） 大統領府大臣（2008～2010） 保健大臣（2010～2011）
Francisco Ameliach	大統領府大臣（2010～2011）
Carmen Meléndez	大統領府大臣（2012）
Wilmer Barrientos	大統領府大臣（2013～2014） 工業大臣（2014）
Rafael Oropeza	食料大臣（2005～2006，2007.3～12）

軍人	歴任した公的政治行政ポスト
Félix Osorio Guzmán	食料大臣（2008～2010, 2013～2014.6）
Jorge Luis García Carneiro	コミュニケーション大臣（2006～2007）
Francisco Usón	経済財務大臣（2001～2003）
Ismael Hurtado	公共投資大臣（2002～2003）
Jorge Pérez Prado	公共投資大臣（2008）
Rodolfo Marco Torres	経済財務公営銀行大臣（2014）
Luis Dávila	内務司法平和大臣（2000～2001） 外務大臣（2001～2002）
Ramón Rodríguez Chacín	内務司法平和大臣（2002, 2008～2010） グアリコ州知事（2012～）
Luis Rincón	内務司法平和大臣（2003～2006）
Pedro Carreño	内務司法平和大臣（2007～2008）
Néstor Luis Reverol	内務司法平和大臣（2012）
Miguel Rodríguez Torres	内務司法平和大臣（2013～）
Jesús Mantilla Oliveros	保健大臣（2008～2009）
Carlos Rotondaro	保健大臣（2009～2010）
María Eugenia Sader	保健大臣（2012～2013）
Wilmar Castro Soteldo	生産商業大臣（2003～2004） 観光大臣（2005～2007） ボルトゥゲサ州知事（2008～）
Juan García Toussaint	海空運大臣（2012～2013）
Herbert García Plaza	海空運大臣（2013～） 経済大衆防衛最高機関長（2013～）
Elsa Gutiérrez Graffé	海空運大臣（2011～2013） 国営ボリバル港湾社長（2010～2013）

（出所） 資料 6 と同じ。

資料9 チャベス政権下での親族登用の実態（1999～2013年）

	職責	親族関係
Adán Chávez	在キューバ大使 大統領府大臣（2003～2004） 教育大臣（2007～2009）	故チャベス大統領の兄
Adelis Chávez	国家青年ゲーム総裁 SOFTASA 銀行副社長	故チャベス大統領の弟
Ana Malpica	国会の出納局長	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores の親族
Argenis Chávez	官房長官 国営電力会社 CORPOELEC 社長	故チャベス大統領の弟
Arturo N. Madera Flores	国会出納局アシスタント	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores のいとこ
Asdrúbal Chávez	国営ベネズエラ石油 PDVSA 副社長 エネルギー副大臣	故チャベス大統領のいとこ
Aury A. Hurtado Paredes	国会職員	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores の親族の名づけ子
Beatriz Rodríguez	国会付属保育園の副園長	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores の義理姉妹
Carlos Malpica Flores	国家財務経済大統領委員会委員 国庫財務官	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores の甥
Carmen Gaviria	国会の人事課アシスタント	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores の親族
Carmen Palencia Flores	国会付属保育園の園長	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores のいとこ
Christian Flores	国会職員	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores の兄弟
Clever Chávez	バリナス州社会政策局長	故チャベス大統領の甥
Daisy Pérez	国会の人事アナリスト	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores の義理姉妹
Demetrio Flores	国会職員	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores の兄弟
Delcy Rodríguez	大統領府大臣 ヨーロッパ担当外務副大臣 副大統領府調整官 通信情報大臣	カラカス市長、与党 PSUV リーダー Jorge Rodriguez の姉妹
Emma Palencia Flores	国会外交委員会秘書	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores のいとこ
Enzo Chávez	PDVSA マネージャー	故チャベス大統領の甥
Erick Malpica Flores	国会の第4 運営官	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores の甥
Erika Albornoz Gaviria	国会の人事局長	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores の姪
Francisco Flores	国会アシスタント	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores の兄弟
Franquie Flores	国会付属幼稚園の運転手	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores の兄弟
Gisela Rangel Flores	国会付属幼稚園アシスタント	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores の姪
Giusón Flores	国会職員	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを 歴任した Cilia Flores の兄弟
Gustavo Arreaza	国営テレビ放送局 VTV 社長	副大統領かつ故チャベス大統領の娘婿で ある Jorge Arreaza の兄弟

	職責	親族関係
Héctor Rodríguez	スポーツ大臣 青年大臣 教育大臣	カラカス市長、与党 PSUV リーダー Jorge Rodríguez の兄弟
Hernes Flores	国会の第三看護師 (Enfermera III de la Asamblea Nacional)	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを歴任した Cilia Flores の姉妹
Irving Molina Flores	国会アシスタント	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを歴任した Cilia Flores の甥
Jorge Arreaza	科学技術大臣 副大統領	故チャベス大統領の娘婿
José David Cabello	マイケティア国際空港社長 国営航空 CONVIASA 社長 インフラ大臣 住宅大臣 財務局 SENIAT 局長 インフラ大臣 国家貿易局 (CENCOEX) 局長 工業大臣	国会議長、PSUV リーダー、現役軍人である Diosdado Cabello の兄弟
Juan C. F. Flores Isturdes	国会付属保育園の監督官	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを歴任した Cilia Flores のいとこ
Juan Francisco Urbina	国会警備局アシスタント	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを歴任した Cilia Flores の義理兄弟
Magali Gutiérrez Viña	国会の大統領室長	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを歴任した Cilia Flores の親族
Magally Viña Castro	国会書記長	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを歴任した Cilia Flores の親族
Marbella Gavidia	国会予算アナリスト	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを歴任した Cilia Flores の親族
Mario Flores	国会議事録担当者	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを歴任した Cilia Flores のいとこ
Narciso Chávez	キューバ・ベネズエラ保健協定のコーディネーター	故チャベス大統領の兄弟
Nicolás E. Maduro Guerra	大統領府検査局長	マドゥロ大統領の息子
Numidia Flores	国会人事局長	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを歴任した Cilia Flores のいとこ
Pedro A. Varela Sayago	国家刑務所サービス理事	刑務所大臣 Iris Valera の甥
Rosa Virginia Chávez	ミラグロ基金総裁	故チャベス大統領の娘
Vladimir Flores	国会警備局長	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを歴任した Cilia Flores の兄弟
Walter Gavidia	国会職員	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを歴任した Cilia Flores の元夫
Walter Gavidia Flores	司法権力の正裁判官	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを歴任した Cilia Flores の息子
Walter J. Gavidia Flores	国会職員	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを歴任した Cilia Flores の息子
Yubiri Ortega de Carrizales	国家水道局 (HIDROCENTRO) 局長 環境自然資源大衆権力大臣	アブレ州知事で元副大統領 Ramón Carrizales の妻
Yurving Flores	国会付属保育園の補助員	マドゥロ大統領夫人で元国会議長などを歴任した Cilia Flores の姪

(出所) 資料 6 と同じ。

(注) 家族・親族がもっとも多く公的ポストに就いているのは、マドゥロ大統領夫人で元国会議長のシリア・フローレスで、兄弟、いとこ、甥・姪、元夫などを含め合計31人に上る。故チャベス大統領の家族・親族で高級行政ポストに就いているのは9人。そのほかに家族・親族が行政ポストに複数就いているのは、Jorge Rodríguez, Diosdado Cabello, Ramón Carrizales。

資料10 登録時期別の地域住民委員会（2002～2014年）

年月	地域住民委員会（数）
2002年～2006年 3 月	1,008
2006年 4 月～2009年11月	30,593
2009年12月～2014年	10,101
計	41,702
センサス	40,035

（出所） Ministerio del Poder Popular para las Comunas ウェブサイトより Briceño 計算。

資料11 ラテンアメリカ各国の参加民主主義への支持

国名	平均（％）		
	2008	2010	2012
エルサルバドル	3.79	3.62	3.89
ニカラグア	3.87	3.37	3.80
エクアドル	3.89	3.27	3.51
カナダ	2.59	3.34	3.50
メキシコ	3.49	3.35	3.49
ボリビア	3.68	3.28	3.48
パラグアイ	3.48	2.91	3.48
グアテマラ	3.71	3.32	3.47
ペルー	3.41	3.25	3.40
アメリカ合衆国	3.32	3.30	3.38
ホンジュラス	3.26	3.62	3.38
チリ	3.50	2.64	3.24
パナマ	3.62	3.04	3.10
コスタリカ	3.26	2.89	3.08
ブラジル	3.04	2.78	3.03
ドミニカ共和国	3.05	2.93	2.98
ジャマイカ	2.82	2.53	2.98
コロンビア	3.66	3.20	2.97
ハイチ	3.67	—	2.89
ベネズエラ	2.92	2.80	2.79
ベリーズ	3.62	2.72	2.66
アルゼンチン	2.39	2.60	2.62
ガイアナ	3.57	2.73	2.62
ウルグアイ	2.77	2.34	2.56
平均	3.35	3.05	3.18

（出所） LAPOP ウェブサイトより，2008，2010，2012 年の調査結果より Briceño 作成。

（注） LAPOP の調査での質問は次の通り。「国民は選出された代表を通してではなく，直接政治に参加するべきである」という質問に対して，1（まったくそう思わない），7（とてもそう思う）の間の数値で回答した有効回答の平均。

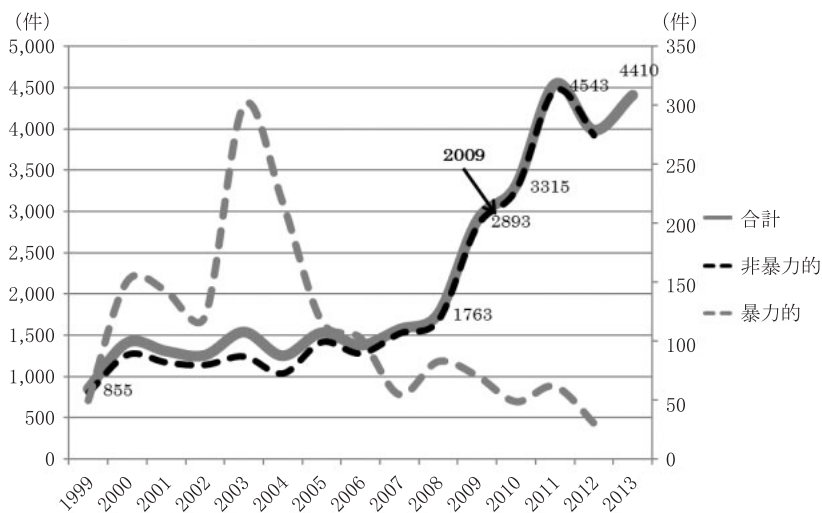
資料12 参加民主主義への支持と野党への対応についての世論（2012年）
（％）

大統領が野党の声を 抑制すべきかどうか	参加民主主義			計
	支持しない	どちらでもない	支持する	
反対	75.5	50.3	30.0	62.7
どちらでもない	8.8	15.3	14.0	10.7
賛成	15.7	34.5	56.0	26.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0

（出所） 資料11と同じ。

（注） LAPOP の調査での質問は次の通り。1. 「国民は選出された代表を通してではなく直接政治するべきである」。2. 「国の進歩のためには、大統領が野党の声や投票を制限することが必要だと思いますか」。

資料13 抗議デモ件数の推移（1999～2013年）



（出所） Provea ウェブサイトより Briceño 作成。

（注） 非暴力的デモ件数とトータルの件数は左軸。暴力的デモ件数は右軸。

資料14 社会開発ミッションの設立時期（2003～2013年）

年	医療	教育	食料	住宅	軍人 専用	社会 保護	経済	先住民	その他*	年合計
2003	1	4	0	0	1	1	1	1	0	9
2004	1	0	1	1	0	0	1	1	2	7
2005	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3
2006	2	1	0	0	0	1	2	0	1	7
2007	1	2	0	1	0	1	0	0	2	7
2008	1	0	0	0	0	1	0	0	3	5
2009	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
2010	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
2011	0	0	0	1	0	3	1	0	0	5
2012	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
2013	0	0	0	1	2	0	2	0	2	7
合計	9	7	1	4	5	7	9	2	12	56

（出所） Maingon 作成。

（注） *政治・イデオロギー的ミッション，科学技術文化ミッションを含む。

資料15 教育ミッション

ミッション	目的
ロビンソンⅠ（2003）	識字教育
ロビンソンⅡ（2003）	初等・中等教育
リバス（2003）	中等教育・その他
ロビンソンⅢ（2006）	読書啓蒙
倫理啓蒙（2007）	全国民向け教育
アルマ・マテル（2007）	高等教育
社会主義司法（2010）	ボリバリアーナ大学出身の弁護士の雇用
バリオの若者（2013）	教育や雇用へのアクセス

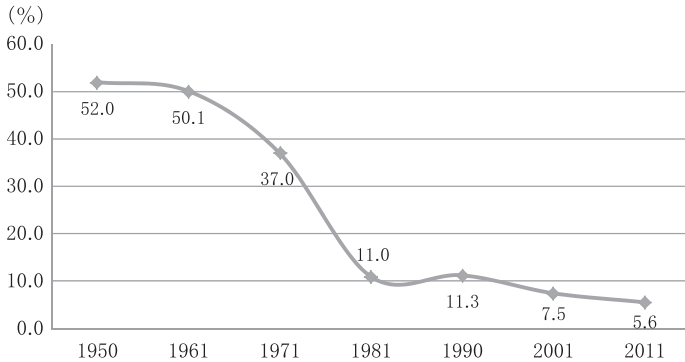
（出所） Díaz Polanco 作成。

資料16 年齢別就学率（1999～2013年）

	0～4歳 人口（人）	就学率 （%）	10～14歳 人口（人）	就学率 （%）	15～19歳 人口（人）	就学率 （%）	20歳以上 人口（人）	就学率 （%）
1999～00	2,765,557	28.96	2,722,222	81.80	2,708,630	56.98	8,514,402	18.13
2000～01	2,781,218	30.03	2,726,697	79.65	2,710,530	61.90	8,673,144	19.34
2001～02	2,796,840	30.87	2,731,128	77.88	2,712,386	66.77	8,831,763	20.51
2002～03	2,812,381	31.36	2,735,482	79.43	2,714,165	68.34	8,990,139	20.63
2003～04	2,827,936	32.35	2,739,852	79.43	2,715,961	71.93	9,148,572	21.35
2004～05	2,843,098	34.29	2,743,832	79.55	2,717,359	74.64	9,305,650	21.80
2005～06	2,856,707	35.39	2,759,835	79.95	2,721,953	77.33	9,450,766	22.27
2006～07	2,870,240	36.51	2,775,764	78.83	2,726,474	79.76	9,595,644	22.66
2007～08	2,883,672	37.25	2,791,594	81.17	2,730,895	81.45	9,740,178	22.84
2008～09	2,896,873	39.32	2,807,202	81.78	2,735,101	82.35	9,883,938	22.79
2009～10	2,910,131	39.24	2,822,855	82.34	2,739,346	82.32	10,027,802	22.49
2010～11	2,912,647	40.16	2,837,261	82.59	2,755,888	83.00	10,121,649	22.60
2011～12	2,914,825	40.94	2,851,339	82.60	2,772,112	84.93	10,214,342	23.05
2012～13	2,916,641	42.88	2,865,065	82.47	2,787,995	85.08	10,305,781	23.02

（出所） MPPS（2014），Venescopio ウェブサイトより Diaz Polanco 作成。

資料17 非識字率の推移（1950～2011年）



（出所） Mundó（2009），INE ウェブサイトより Diaz Polanco 計算。

資料18 主要食料の供給量（2010年）

分類	生産量 (トン)	輸入量 (トン)	合計 (トン)	輸入比率 (%)	国民1人当たり 供給量 (kg)
穀物	3,179,016	3,334,457	6,513,473	51.2	229.8
とうもろこし	2,271,548	1,520,436	3,791,984	40.1	133.8
米	907,468	317,554	1,225,022	25.9	43.2
小麦	0	1,495,332	1,495,332	100.0	52.7
大麦	0	1,135	1,135	100.0	0.0
砂糖	428,815	630,448	1,059,263	59.5	37.4
インゲンマメ	34,475	90,654	125,129	72.4	4.4
肉類	6,930,155	816,114	7,746,269	10.5	273.3
牛肉	2,535,922	725,497	3,261,419	22.2	115.0
豚肉	3,348,055	0	3,348,055	0.0	118.1
鶏肉	1,046,178	90,617	1,136,795	8.0	40.1

（出所） INN（2010）より Díaz Polanco 作成。

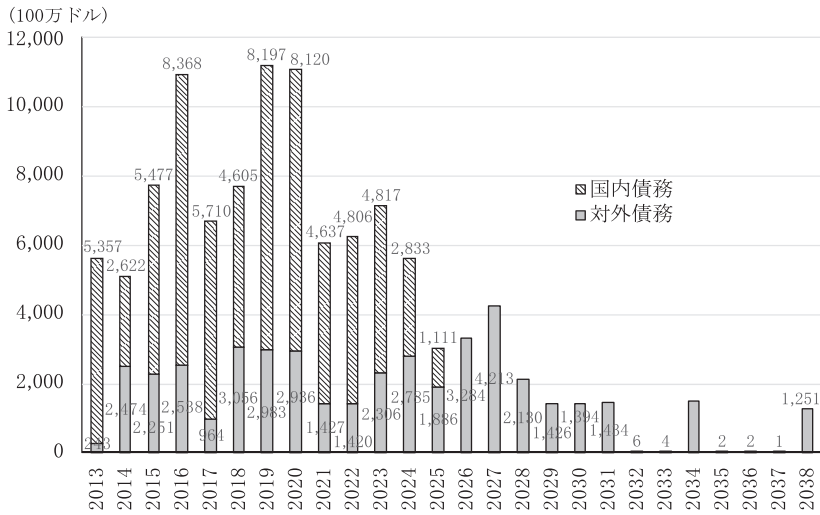
資料19 ラテンアメリカ主要国の貧困と所得格差の推移

		貧困人口 比率(%)	ジニ 係数			貧困人口 比率(%)	ジニ 係数
ラテンアメリカ	1990	48.4		コロンビア	1994	52.5	0.601
	1999	43.8			1999	54.9	0.572
	2002	43.9			2002	49.7	0.567
	2012	28.1			2012	32.9	0.536
	2013	28.1			2013	30.7	0.536
ベネズエラ	1990	39.8	0.471	ペルー	1997	47.5	0.532
	1999	49.4	0.498		1999	48.6	0.545
	2002	48.6	0.500		2001	54.7	0.525
	2012	25.4	0.405		2012	25.8	0.449
	2013	32.1	0.407		2013	23.9	0.444
ブラジル	1990	48.0	0.627	チリ	1990	38.6	0.554
	1999	37.5	0.640		1998	21.7	0.560
	2001	37.5	0.639		2003	18.7	0.552
	2012	18.6	0.567		2011	10.9	0.516
	2013	18.0	0.553		2013	7.8	0.509
メキシコ	1989	47.7	0.536	ボリビア	1989	52.6	0.537
	1998	46.9	0.539		1999	60.6	0.586
	2002	39.4	0.514		2002	62.4	0.614
	2010	36.3	0.481		2009	42.4	0.508
	2012	37.1	0.492		2011	36.3	0.472
アルゼンチン	1990	21.2	0.501	エクアドル	1990	62.1	0.461
	1999	23.7	0.539		1999	63.5	0.526
	2004	34.9	0.578		2002	49.0	0.513
	2011	5.7	0.492		2011	32.4	0.434
	2012	4.3	0.475		2013	33.5	0.468

(出所) CEPAL (2014, 95-96, 124-125) より抜粋。

(注) ジニ係数は所得格差を表す0から1の間の指標で、小さいほど格差が少ない。

資料20 中央政府債務の償還年別の残高



(出所) Ministerio de Economía, Finanzas y Banca Pública のウェブサイトより坂口作成。

資料21 セクター別 GDP 成長率の推移

(%)

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014*
GDP 成長率	-6.0	3.7	3.4	-8.9	-7.8	18.3	10.3	9.9	8.8	5.3	-3.2	-1.5	4.2	5.2	1.3	-2.3
石油	-3.8	2.3	-0.9	-14.2	-1.9	13.7	-1.5	-2.0	-3.3	2.9	-7.4	0.1	0.6	1.4	0.9	0.3
非石油	-6.9	4.2	4.0	-6.0	-7.4	16.1	12.2	10.9	9.7	5.7	-1.7	-1.6	4.5	5.8	1.8	-2.5
製造業	-10.1	5.1	3.7	-13.1	-6.8	21.4	11.1	8.3	4.4	1.4	-6.4	-3.4	3.8	1.8	-0.3	-4.4
電力・水	-2.2	4.7	4.8	2.1	-0.5	8.5	11.2	4.9	2.6	5.0	4.1	-5.8	5.0	3.8	3.3	-1.7
建設	-17.4	4.0	13.5	-8.4	-39.5	25.1	20.0	30.6	20.8	10.5	-0.2	-7.0	4.8	16.6	-2.3	-10.1
商業	-5.4	5.7	4.6	-13.6	-9.6	28.6	21.0	15.7	15.6	3.5	-8.2	-6.1	6.5	9.1	3.4	-9.5
通信	3.6	2.1	8.1	2.5	-5.0	12.9	22.4	23.5	22.0	21.7	12.1	7.9	7.3	7.0	6.5	4.1
金融	-15.2	-0.7	2.8	-14.5	11.9	37.9	36.4	47.2	16.7	-7.4	-1.5	-7.6	12.0	33.5	21.6	13.2

(出所) BCV ウェブサイトより抜粋。

(注) 2014年は第3四半期の前年同期比。

資料22 世界の石油確認埋蔵量

(10億バレル)

順位	国名	1993年	2013年	2013年シェア
	世界合計	1041.4	1687.9	100.0%
1	ベネズエラ	64.4	298.3	17.7%
2	サウジアラビア	261.4	265.9	15.8%
3	カナダ	39.5	174.3	10.3%
4	イラン	92.9	157.0	9.3%
5	イラク	100.0	150.0	8.9%
6	クエート	96.5	101.5	6.0%
7	UAE	98.1	97.8	5.8%
8	ロシア	n/a	93.0	5.5%
9	リビア	22.8	48.5	2.9%
10	米国	30.2	44.2	2.6%
	OPEC 諸国	774.9	1214.2	71.9%
	非 OPEC 諸国	206.3	341.9	20.3%
	カナダ・オイルサンド	32.3	167.8	
	ベネズエラ・オリノコ超重質油	—	220.5	

(出所) BP (2014) より坂口作成。

資料23 世界の原油産出量 (2013年)

順位	国名	万バレル/日	前年比	内訳
	世界合計	86,754	0.6%	100.0%
1	サウジアラビア	1,153	−1.1%	13.1%
2	ロシア	1,079	1.3%	12.9%
3	米国	1,000	13.5%	10.8%
4	中国	418	0.6%	5.0%
5	カナダ	395	6.0%	4.7%
6	UAE	365	7.4%	4.0%
7	イラン	356	−6.0%	4.0%
8	イラク	314	0.8%	3.7%
9	クエート	313	−1.3%	3.7%
10	メキシコ	287	−1.1%	3.4%
11	ベネズエラ	262	−0.8%	3.3%
	OPEC 諸国	3,683	−1.8%	42.1%

(出所) BP (2014) より坂口作成。

(注) 石油の定義の違いから、産油量はデータソースによって若干差がある。

資料24 ベネズエラの比重別原油日産量と確認埋蔵量（2013年）

日産量	(万バレル/日)	
コンデンサード	11.6	4%
軽質原油	46.9	16%
中質原油	63.7	22%
重質および超重質原油	167.7	58%
合計	289.9	100%
確認埋蔵量	(100万バレル)	
コンデンサード	2,384	1%
軽質原油	10,331	3%
中質原油	9,742	3%
重質原油	17,597	6%
超重質原油	258,299	87%
合計	298,353	100%

（出所） PDVSA（2013, 48, 53）より坂口作成。

資料25 ALBA/PETROCARIBE 首脳会議とラテンアメリカ地域統合の流れ

年	月	ALBA		PETROCARIBE		ベネズエラの国内情勢	ラテンアメリカ地域統合の流れ
		サミット	開催場所	サミット	開催場所		
2001	12	ALBAを提唱					
2002	1						
	2						
	3						
	4					クーデター未遂事件	
	5						
	6						
	7						第2回 南米首脳会議
	8						
	9						
	10						
	11						
	12					ゼネスト	
2003	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
2004	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8					大統領不信任国民投票	
	9						
	10					地方選挙	
	11						
	12	第1回	ハバナ				第3回 南米首脳会議
2005	1						
	2						
	3						
	4	第2回	ハバナ				
	5						
	6			第1回	プエルトラクルス		
	7						
	8						
	9			第2回	モンテゴベイ		第1回 南米共同体首脳会議
	10						
	11						第4回 米州サミット
	12					国会議員選挙	

年	月	ALBA サミット 開催場所	PETROCARIBE サミット 開催場所	ベネズエラの国内情勢	ラテンアメリカ地域統合の流れ
2006	1				
	2				
	3				
	4	第3回 ハバナ			
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12			大統領選挙	第2回 南米共同体首脳会議
2007	1	第4回 マナグア			
	2				
	3				
	4	第5回 バルキシメト			南米エネルギー首脳会議
	5				
	6				
	7				
	8		第3回 カラカス		
	9				
	10				
	11				
	12		第4回 シエンフエゴス		
2008	1	第6回 カラカス			
	2				
	3				
	4	第1回臨時 カラカス			
	5				UNASUR 設立臨時首脳会議
	6				
	7		第5回 マラカイボ		
	8	第2回臨時 テグシガルバ			
	9				第1回 UNASUR首脳会議（緊急）
	10				
	11	第3回臨時 カラカス		地方選挙	
	12				第1回 ラテンアメリカ・カリブ首脳会議
2009	1				
	2	第4回臨時 カラカス			
	3				UNASUR 国防相会議
	4	第5回臨時 クマナ			第5回 米州サミット
	5				
	6	第6回臨時 マラカイ	第6回 バセテール		
	7	第7回臨時 マナグア			
	8				第2回 UNASUR 首脳会議
	9				第3回 UNASUR 首脳会議
	10	第7回 コチャバンバ			
	11				
	12	第8回 ハバナ			

年	月	ALBA サミット 開催場所	PETROCARIBE サミット 開催場所	ベネズエラの国内情勢	ラテンアメリカ地域統合の流れ
2010	1				
	2				
	3				第2回 ラテンアメリカ・カリブ首脳会議
	4	第9回 カラカス			
	5				UNASUR特別会議（事務総長選）
	6	第10回 オタバロ			
	7				
	8				
	9			国会議員選挙	
	10				UNASUR 緊急首脳会議
	11				第4回 UNASUR 首脳会議
	12			地方選挙（補選）	
2011	1				
	2				
	3				UNASUR特別会議（事務総長選出）
	4				
	5				
	6			チャベス腫瘍罹患公表	
	7				
	8				
	9				
	10				第5回 UNASUR 首脳会議
	11				
	12				第3回 ラテンアメリカ・カリブ首脳会議
2012	1				
	2	第11回 カラカス			
	3				
	4				第6回 米州サミット
	5				
	6				UNASUR 緊急首脳会議
	7				
	8				
	9				
	10			大統領選挙	
	11				第6回 UNASUR 首脳会議
	12			州知事選挙	
2013	1				第1回 CELAC 首脳会議
	2				
	3			チャベス死去	
	4			大統領選挙	UNASUR 緊急首脳会議
	5		第7回 カラカス		
	6				
	7	第12回 グアヤキル			
	8		第8回 マナグア		第7回 UNASUR 首脳会議
	9				
	10				
	11				
	12			市長選挙	

（出所） Alonso（2014）をもとに浦部作成。

〔参考文献〕

- 坂口安紀編 2010.『途上国石油産業の政治経済分析』岩波書店.
- Alonso, Kleber José 2014. (浦部浩之監修)「チャベス政権の外交政策」に関するデータベース (序章注10参照).
- BP 2014. *Statistical Review of World Energy 2015*. (BP ウェブサイトより).
- Díaz Ramírez, Jorge Luis 2014. (Thais Maingon 監修)「政治変革と新しい政治アクターの台頭」に関するデータベース (序章注10参照).
- Instituto Nacional de Nutrición (INN) 2010. *Hoja de balance de alimentos*. Caracas: INN.
- MPPS 2014. *Boletín de salud ambiental*. Caracas: MPPS.
- Mundó, Mabel 2009. “Las Misiones educativas: ¿Política pública para la inclusión o estrategia para el clientelismo político?” *Cuadernos del CENDES*, Año 26 (71): 27-64.
- CEPAL 2014. “Panorama social de América Latina 2014.” (CEPAL ウェブサイトより).
- PDVSA 2013. *Informe de gestión anual PDVSA 2013*. (PDVSA ウェブサイトより).

<ウェブサイト>

- BP (<http://www.bp.com>)
- CEPAL (<http://www.cepal.org>)
- Consejo Nacional Electoral (CNE) (<http://www.cne.org.ve>)
- Instituto Nacional de Estadística (INE) (<http://www.ine.gov.ve>)
- LAPOP (<http://www.LapopSurveys.org>)
- Ministerio de Economía, Finanzas y Banca Pública (<http://www.mefbp.gob.ve>)
- Ministerio del Poder Popular para las Comunas (<http://www.mpcomunas.gob.ve>)
- PDVSA (<http://www.pdvs.com>)
- Provea (<http://www.derecho.org.ve>)
- Venescopio (<http://www.venescopio.org.ve/>)